篠原小学校ストップいじめアクションプラン

めざす学校

いじめを しない させない 許さない 見逃さない 学校

子どものアクション

いじめのない明るく楽しい学校づくり

☆気持ちの良いあいさつ。

☆正しく適切な言葉遣い。

☆欠点を責めず良い所を認め合う。

☆児童会は、教職員と協力していじめをなくす活動を進める。

☆悩んだり困ったりしたときは、一人で抱 え込まず、必ず誰かに相談する。

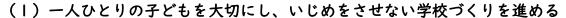
家庭・地域と連携したアクション

☆保護者・地域の方に対し、いじめに関する研修会を開催したり、協議の場を設けたりし、いじめ問題に対する協同の取組を進める。

☆あいさつ運動、声かけ運動、見回り活動 等、地域ぐるみの取組を進める。

☆いじめのSOS早期発見チェックリストを実施する。

教職員のアクション



☆「いじめは絶対に許さない。いじめられている人を守り通す」ことの共通理解・実践する。

☆わかる授業、魅力ある授業に努める。授業を通じて「自己肯定感」「共感的人間関係」「自己決定の カ」を育む。

(2)いじめの早期発見に努める

☆ささいな変化を見逃さないように、休み時間、昼食時など積極的に子どもと関わる時間を持つ。 ☆いじめが見逃されないよう、毎学期、子どもとの教育相談を実施したり、いじめSOS早期発見 チェックリストやアンケートを実施したりする。

(3) いじめ解消へ向けての基本対応

☆いじめの発見、いじめの訴えがあれば、直ちに対策委員会を開く。

☆速やかに事実関係の確認を行い、対応策を立て、いじめが解決する (3か月以上いじめが止んでいる) まで指導をする。

☆いじめた児童が深く反省し、二度といじめないための指導をする。

☆保護者への説明(訪宅または保護者来校。複数で対応、丁寧な説明。)

☆すべての児童が傍観者にならないよう、いじめをなくすための行動がとれるように指導する。

☆人権・いじめを題材とした道徳・学級活動等の授業を通して、自分たちの行動を振り返る。